

本年度第2回の「西粟倉村学校運営協議会」が、令和6年11月20日(水)に開催されました。

今回は会場を西粟倉小学校とし、6校時目の授業を参観した後、学校運営協議会の役割説明とグループに分かれての懇談を持ちました。

テーマは…

西粟倉村
幼・小・中

学校運営協議会通信

学校の取組や活動に対して、 運営協議会・地域として協働できることは何か

授業を参観して・・・感想

- 低学年はとっても元気！しっかり手をあげて発言できていた。
- 先生は大変そうだった。先生の指示とはちがう行動をしている児童もいた。
- 学習に対して前のめりになっていない児童もみうけられた。
- 高学年の授業では考えるポイントが示され、主体的に動き、話し合う姿が見られた。
- 国語と算数の教科横断的な授業だった。実生活でも活かそう。
- 間違っても大丈夫というクラスの雰囲気良かった。
- 児童の思いをしっかりと聞こうとする教師の姿勢良かった。
- 授業の振り返りをしっかりすることが大切と感じた。
- 最後のまとめを教師が行い、児童の考えが反映されていない授業もあった。

☆実際の授業を参観することで知ったり、わかったりすることがある☆



校内での生活を見ていて・・・感想

- ボランティアによる読み聞かせを児童はとっても楽しみにしている。良い取組。
- 授業に集中できるよう、教室には視覚的にうったえる掲示物が工夫されていた。
- アットホームな感じであいさつができていた。
- のびのびと遊んでいるように見えるが、善悪の区別があいまいで、じゃれ合っている姿があった。「私はそんなことをされたらイヤだな」等の声掛けが必要。

☆日常的に地域がもっと学校に関わって、児童を見守る必要がある☆



運営協議会や地域として、学校と協働できることは…意見

- 環境整備
 - ・掃除の時間に児童と一緒に学校を掃除する。校庭の草刈りや落ち葉集めなど。
- 学習支援
 - ・和の文化を学ぶ際に、西粟倉村にある資源を活かす。(獅子舞・茶道等)
 - ・ミシンを使う授業など、教師の手が必要な時はボランティアに協力を依頼する。
 - ・「○○をテーマに～したい」など、大まかな内容でよいので、地域にたよる。
 - ・活動場所を学校からあわくら会館に移すと、地域の人参加しやすくなる。
- 学校地域の役割分担
 - ・先生の多忙解消と地域との協働を進めるために、専門家から意見をもらい、業務の精選をする。
- あいさつ運動
 - ・地域の人とも児童と一緒に取り組む。
- 下校見守り
 - ・特に4月は新1年生だけで下校することがある。見守り隊だけではカバーできないので地域の人協力を得る。
- 休み時間や教室外での児童との関わり
 - ・日常的に学校に行きやすい環境を整えることで、校内での見守りができる。祖父母世代の人との関わりも期待できる。
 - ・半面、安全面での配慮も必要。
- 地域の人と関わる機会の創設
 - ・「毎月〇日は学校開放 Day」「西粟倉小学校食堂(給食に招待)」「総合学習発表会」など、イベントを開催する。
- コーディネーターの活用
 - ・地域の教育的資源の集約、地域人材や団体とのつなぎなど、コーディネーターに依頼する。
 - ・依頼の方法をパターン化し、効率化を図る。

学校の実態を見ることで、学校運営協議会としてできることを深く議論するきっかけとなる。
今後、さらに具体的な動きになるよう、熟議をすすめる。